

平成9年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成9年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成9年12月1日(月)～2日(火)に池之端文化センターにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者33名、委託関係者104名ほか、計148名の参集を得て、除草剤51薬

剤(537点)、生育調節剤4薬剤(31点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成9年度 春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 〔対象雑草〕 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
1. AC-414 水和剤 ジクロスルファミロン 10% 〔日本アイナミット〕	コライシバ	作用性 新 規	植調研究所、 中国G連G研 (2)	〔一年生広葉雑草〕 ①雑草発生前 0.1、0.2、0.3、0.4g 		

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
2. CG-148 顆粒水和剤 (つづき)	コライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 浜松ソーサイトGC、 桑名CC、 宮崎CC (4)	〔一年生広葉雑草及びびかりグサ 科、トメグサ、カハミ、クロハ等〕 ①広葉雑草発生初期 (3葉期まで) 0.045、0.06、0.09 g<200> ②広葉雑草生育期 (5葉程度まで) 0.045、0.06、0.09 g<200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.5ml<200>		
	ノハ <8年度 含む>	適用性 継 続	植調研究所、 浜松ソーサイトGC、 桑名CC、 久山CC (4)			
	ベント グラス	作用性 新 規	東日本G研、 琵琶湖CC (2)	〔薬害〕 雑草発生初期 0.045、0.06、0.09 g<200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.5ml<200>		
[ノハルティス アグロ]						
3. CG-205 顆粒水和剤 70% プロスルフロ	コライシバ <8年度>	適用性 継 続	四日市東急GC<②> 西日本G研<①> (2)	〔広葉雑草〕 ①広葉雑草3葉程度 ② " 5 " ; 0.012、0.018、0.024 g<200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.5 ml<200> または一任	実 ・ 継	(前回判定どおり) 実:〔コライシバ、ベントグラス〕 一年生広葉雑草 ・ 芝生育期。 ・ 雑草生育期(5葉期まで)。 ・ 0.012～0.024g<200ml>/m ² 。 ・ 茎葉処理。 継: ・ グリーンにおける実証試験 での確認。
	ベント グラス <8年度>	適用性 継 続	小諸高原GC<②>、 中国G連G研<②> (2)			
[日本ハーフアイター]						
4. CH-900 70%フル剤 カフエントロール	コライシバ	適用性 継 続	美浦GC、 南愛知CC、 大阪農技、 佐賀CC、 (4)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草発生前 ; 0.25、0.375、0.5ml<200-300> ; 土壌処理 ; ハイメウ水和剤 0.3g<200-300>	実 ・ 継	実:〔コライシバ、ノハ〕 一年生イネ科雑草 ・ 芝生育期。 ・ 雑草発生前。 ・ 0.25～0.5g<200～300ml>/m ² 。 ・ 土壌処理。 継: ・ 実証試験の実施。
	ノハ	適用性 継 続	盛岡南CC、 富士国際GC、 静岡高冷地、 花屋敷GC (4)			
[永光化成]						
5. DEH-112 5.5EC 乳剤 シハロップアール 5.5%	コライシバ (薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草本葉2～3葉期 ; 0.4、0.8、1.6、 0.8→0.8ml<100> ; 茎葉処理 ; -	継	継: ・ 効果、薬害の確認。
	ノハ (薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)			
	コライシバ	適用性 新 規	ウソクフィールドGC、 習志野CC、 石川農総試、 中国G連G研、 門司GC (5)	〔一年生イネ科雑草〕 メシバ本葉2～3葉期 ; 0.2、0.3、0.4ml<100> ; 茎葉処理 ; アージソ 80SC水溶剤 0.3g<200>		
	ノハ	適用性 新 規	植調岩手、 那須ナース、 静岡高冷地、 中国G連G研、 門司GC (5)			
[タウケミカル日本]						

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
6. DEH-114 顆粒水和剤 ベンゾフラシ イソキサヘン 55% 5.5% [ダウ・ケミカル日本]	コライシバ <8年度 >	適用性 継 続	〈鳳鳴CC〉 (1)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.5、0.6、0.7 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実	実: [(コライシバ、ノシバ、ベントグラス、 ケンタッキーブルーグラス)一年生雑草] ・ 芝生育期。 ・ 雑草発生前。 ・ 0.5~0.7g<200~300ml>/m ² 。 ・ 土壌処理。 注: ・ ベントグラスはグリーソを除く。
	コライシバ	実 証	埼玉県民G場、 琵琶湖CC、 門司GC (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.6g<200> ; 土壌処理 ; 一任		
7. DEH-115 S C 剤 Florasulam 5% [ダウ・ケミカル日本]	コライシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研 (1)	[広葉雑草] H7秋→H8春→H8秋→H9春 (ベントグラスはH8春より実施) 雑草発生前 (本葉3~5葉期) ; 0.04、0.08、0.16ml<150> ; 茎葉処理 ; 一任	実・ 継	実: [(ケンタッキーブルーグラス) 広葉雑草] ・ 芝生育期。 ・ 雑草生育初期。 ・ 0.04~0.08ml ;<150~200ml>/m ² 。 ・ 茎葉処理。 継: ・ 実証試験での確認。
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研 (1)			
	ベント グラス (連用)	作用性 新 規	奥武蔵CC (1)			
	ブルー グラス (連用)	作用性 継 続	滝川畜試 (1)			
	ブルー グラス	適用性 継 続	札幌国際CC、 札幌美蓉CC、 小樽CC、 太平洋C札幌、 廣済堂札幌CC、 札幌後楽園、 札幌不二ロイヤル (7)	[広葉雑草] 雑草発生前 (本葉3~5葉期) ; 0.02、0.04、0.08ml ;<150-200> ; 茎葉処理 ; イソフル水和剤 0.3 g ;<200>		
	コナガシ ワ、ツツジ 類 他 3 種	緑化木	鳥取園試、 福岡農総園研 (2)	[緑化木に対する影響] ①茎葉処理 0.08ml<150> ②土壌処理 0.16ml<150> ; 無処理		
8. DEH-94T01 ゾル剤 オリザリン 40.4% [ダウ・ケミカル日本]	コライシバ	適用性 新 規	小杉CC、 佐野GC、 総武CC、 南愛知CC、 琵琶湖CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.2、0.3、0.4g<150-200> ; 土壌処理 ; ウェイファーフロアール剤 0.4g<200-300>	実・ 継	実: [(コライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期。 ・ 雑草発生前。 ・ 0.2~0.4g<200ml>/m ² 。 ・ 土壌処理。 継: ・ 効果の確認。 ・ 実証試験での確認。
	ノシバ	適用性 新 規	小杉CC、 習志野CC、 南長野CC、 南愛知CC、 琵琶湖CC (5)			
	コナガシ ワ、ツツジ 類 他 3 種	緑化木	鳥取園試、 福岡農総園研 (2)	[緑化木に対する影響] 新葉展開~硬化期 ; 0.4<150> ; 茎葉処理 ; 無処理		

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
9. DEH-94T01 顆粒水和剤 オキサリ 85%	ノシハ <8年度>	適用性 継 続	<大阪GC>	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.1、0.2、0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; ユーイブ [®] プロ [®] 77 [®] ル剤 0.4 g<200-300>	実 ・ 継	(前回判定どおり) 実: [(コライシハ [®] 、ノシハ [®]) 一年生雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前. ・ 0.1~0.2g<200~300ml>/m ² . ・ 土壌処理. 継: ・ 実証試験での確認.
10. DH-80 粒剤 ピリ [®] チカル [®] 3.5%	コライシハ (連用)	作用性 新 規	奥武蔵CC、 西日本G研 (2)	[一年生イネ科雑草] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 ; 25g ; 土壌処理 ; エイ [®] ソ水和剤 (単用) 1.5g<200-250>	実 ・ 継	実: [(コライシハ [®] 、ベント [®] グラス、 ケンタッキー [®] ブルー [®] グラス) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前. ・ 15~25g/m ² . ・ 土壌処理. 継: ・ 連用試験の継続.
	ベント グラス (連用)	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)			
	ケンタッキー ブルー グラス (連用)	作用性 新 規	植調研究所、 那須ナセー (2)			
	コライシハ	適用性 継 続	美浦GC、 東日本G研、 花屋敷GC、 鳥取園試 (4)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 15、20、25g ; 土壌処理 ; エイ [®] ソ水和剤 1.2g<200-250>		
	ベント グラス	適用性 継 続	江戸崎CC、総武CC、 花屋敷GC、 祁答院GC (4)			
	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 継 続	太平洋C札幌、 札幌不二 [®] ロイヤルGC、 那須ナセー (3)			
	コライシハ	実 証	東日本G研(現地)、 美浦GC、 佐野GC (3)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 20g ; 土壌処理 ; エイ [®] ソ水和剤 1.2g<200-250>		
	ベント グラス	実 証	奥武蔵CC (1)			
	ケンタッキー ブルー グラス	実 証	札幌芙蓉CC、 サ [®] GC竜ヶ崎 (2)			
[大日本イ [®] キ 化学工業]						
11. DH-81 粒剤 ジ [®] チ [®] ビ [®] ル 0.16%	コライシハ	適用性 新 規	東蔵王GC、美浦GC、 ウィン [®] グ [®] フィールド [®] GC、 茨城農総園研、 兵庫農技 (5)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 15、20、25 g ; 土壌処理 ; デ [®] イクト [®] 乳剤 0.15ml<200-300>	実 ・ 継	実: [(コライシハ [®] 、ノシハ [®]) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前. ・ 15~25g/m ² . ・ 土壌処理. 継: ・ 効果、薬害の確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	ノシハ	適用性 新 規	植調岩手、 東蔵王GC、 佐野GC、 南長野GC、 タイ [®] グ [®] -XGC、 鳥取園試 (6)			
[大日本イ [®] キ 化学工業]						

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
12. DH-86 水中和剤 テニコロール 50% エトキシスルフロ 6% [大日本イソ化学工業]	ノシハ	作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] ①ノシハ発生前 ; 0.3、0.4、0.6g<200-300> ; 土壌処理 ②雑草発生初期 (ノシハ 3葉期まで) ; 0.3、0.4、0.6g<200-300> ; 茎葉処理 ; アローハート-水中和剤 0.2g<200-300>	継	継: ・効果、被害の確認。 ・連用試験での確認。 ・実証試験での確認。
	コライシバ	適用性 新 規	東日本G研(現地)、 総武CC、 東日本G研、 (5)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] イネ科雑草発生前 ; 0.3、0.4、0.5g<200-300> ; 土壌処理 ; アローハート-水中和剤 0.2g<200-300>		
	ノシハ	適用性 新 規	東日本G研(現地)、 植調研究所、 富士国際CC、 兵庫農技、 中国G連G研 (5)			
13. DTH-85 水中和剤 テニコロール 50% [トヤマ・大日本イソ化学工業]	コライシバ (連用)	作用性 新 規	奥武蔵CC、 中国G連G研 (2)	[一年生イネ科雑草] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 ; 0.5g<200-300> ; 土壌処理 ; デイクトラン乳剤 0.15ml<200-300>	実・ 継	実: [(コライシバ、ノシハ) 一年生イネ科雑草] ・芝生育期。 ・雑草発生前。 ・0.3~0.5g<200~300ml>/m ² 。 ・土壌処理。 継: ・連用試験の継続。
	ノシハ (連用)	作用性 新 規	植調研究所、 中国G連G研 (2)			
	ノシハ	適用性 継 続	静岡高冷地 (1)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 0.3、0.4、0.5g<200-300> ; 土壌処理 ; デイクトラン乳剤 0.15ml<200-300>		
	コライシバ	実 証	東日本G研(現地)、 高坂CC (2)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 0.4g<200-300> ; 土壌処理 ; デイクトラン乳剤 0.15ml<200-300>		
	ノシハ	実 証	東日本G研(現地)、 南愛知CC (2)			
14. EL-107 水中和剤 (ターザン水中和剤) イソキサハート 50% [タケウ・ケミカル日本]	コライシバ	適用性 継 続	小杉CC、 佐野CC、 東日本G研、 南愛知CC、 兵庫農技 (5)	[一年生雑草] 雑草発生前2週間前 ; 0.08、0.10、0.12g<150-200> ; 土壌処理 ; バナフィン顆粒水中和剤 0.5g<150-200>	実・ 継	実: [(コライシバ、ノシハ、ベントグラス、 ・ケンタッキーブルーグラス) 一年生広葉雑草] ・芝生育期。 ・雑草発生前。 ・0.04~0.08g <200~300ml>/m ² 。 ・土壌処理。 継: ・イネ科雑草の効果確認。 ・連用処理での確認。 ・実証試験での確認。
	ノシハ	適用性 継 続	植調岩手、 小杉CC、 南長野CC、 南愛知CC、 鳥取園試 (5)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
15. ESH-01 水和剤 ハスロジソ 58% [ハル企画]	コライシバ	適用性 継 続	東日本G研(現地)、 石川農総試、 奥武蔵CC※、 リバー富士CC、 関西G研※ (5)	[一年生雑草 (<i>カタリクサ</i> 科・ <i>キリコ</i> 科を除く)] 雑草発生前 ; 0.3、0.5、0.7<200-300> ; 2.0g※<200-300> ※2.0g(4倍薬害) 2場所のみ ; 土壌処理 ; ハナフィノ顆粒水和剤 0.5g<200-300>	実・ 継	実: [(コライシバ、ノシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前. ・ 0.5~0.7g<200~300ml>/m ² . ・ 土壌処理. 継: ・ 低薬量での効果確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	ノシハ	適用性 継 続	植調岩手<※>、 東日本G研(現地)、 奥武蔵CC※、 甲府国際CC、 静岡高冷地 (5)			
16. FDH-501 顆粒水和剤 カーフェントラゾニエチル 50% [FMCアジファシフィック・ インク、大日本インキ 化学工業]	コライシバ	適用性 継 続	奥武蔵CC、 富士国際GC、 琵琶湖CC、 東広野GC、 兵庫農技 (5)	[一年生広葉雑草] 雑草生育初期(2~3葉まで) ; 0.01、0.015、0.02g<100-200> ; 茎葉処理 ; インゾール水和剤(生育初期) 0.3g<200-300>	継	継: ・ 効果の確認.
	ノシハ	適用性 継 続	植調岩手、 奥武蔵CC、 琵琶湖CC、 東広野GC、 鳥取園試 (5)			
17. FU-176 水和剤 (トウガラシ水和剤) 8-ヒドロキシノリソ銅 80% [アグロ ケネショウ]	ベント グラス	適用性 新 規	総武CC、 大月CC、 甲府国際CC、 花屋敷GC、 祁答院GC (5)	[藻類、苔類] 藻類・苔類の発生前~発生前 に10~14日間隔の2回散布 ; 2.5g<200>、 2.5g<300> ; 茎葉散布 ; 一任	実・ 継	実: [(ベントグラス)藻類] ・ 芝生育期. ・ 藻類発生前. ・ 10~14日間隔の2回処 理. ・ 2.5g<200~300ml>/m ² . ・ 茎葉処理. 継: ・ 効果の確認. ・ 実証試験での確認.
18. HSA-953 顆粒水和剤 エトキシメフロ 60% (つづく)	コライシバ (薬害)	作用性 継 続	宇都宮大学、 中国G連G研 (2)	[一年生雑草、多年生広葉雑草、 <i>カタリクサ</i> 科] 雑草発生前 (広葉雑草3葉期まで) ; 0.06、0.12、0.24g<200-300> ; 茎葉処理 ; 一任 (コライシバ、ノシハ; インゾール水和剤 0.3gなど、ベントグラス、ケンタッキーフ ーグラス; アグリソ水和剤0.3gな ど)	実・ 継	実: [(コライシバ、ノシハ、ベントグラス、 ケンタッキーフーグラス) 広葉雑草、ハマスガ、ヒメクサ] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前(3葉期まで). ・ 広葉雑草 0.03~0.06、 ハマスガ・ヒメクサ 0.045~0.075g、 <200~300ml>/m ² . ・ 茎葉処理. 継: ・ 連用試験の継続.
	ノシハ (薬害)	作用性 継 続	宇都宮大学、 中国G連G研 (2)			
	ベント グラス (薬害)	作用性 継 続	那須ナセー、 中国G連G研 (2)			
	ケンタッキー フー グラス (薬害)	作用性 継 続	植調研究所 那須ナセー			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 続 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
18. HSA-953 顆粒水和剤 (つづき)	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所 (1)	[広葉雑草] H8秋→H9春→H9秋→H10春 雑草発生初期 (広葉雑草 3 葉期まで) ; 0.06g<200-300> ; 茎葉処理 ; -		
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所 (1)			
	ベント グラス (連用)	作用性 継 続	奥武蔵CC (1)			
	ケンタッキー ブルー グラス (連用)	作用性 継 続	滝川畜試 (1)			
	コライシバ	適用性 継 続	東日本G研(現地)、 植調研究所、 東日本G研、 兵庫農技、 関西G研 (5)	[広葉雑草及びびかりグサ科] 雑草発生初期 (広葉雑草 3 葉期まで) ; 0.03、0.045、0.06 g<200-300> ; 茎葉処理 ; 一任 (コライシバ、ノシバ ; インパ-ル水和剤 0.3gなど、ベントグラス、ケンタッキーブル -グラス ; アクリン水和剤0.3gな ど)		
	ノシバ	適用性 継 続	東日本G研(現地)、 植調研究所、 那須ナ-セル、 東広野GC、 宮崎CC (5)			
	ベント グラス	適用性 継 続	奥武蔵CC、 <小諸高原GC>、 東広野GC、 祁谷院GC (4)			
	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 継 続	札幌国際CC、 小樽CC、 札幌不二ロイヤルGC、 廣済堂札幌CC、 盛岡南CC (5)			
	日本芝 (ハマスグ ヒメクグ)	適用性 継 続	東日本G研(現地)、 植調研究所、 佐野GC、 宮崎CC (4)			
	[ベキスト・シェリング・ アケレホ]	コナカシ リ、ツツジ 類 3 種	緑化木	埼玉花植木、 福岡農総園研 (2)		
19. HW-T62 水和剤 (ベ-ンホ-ル水和剤) DCBN 50%	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所 (1)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] H8秋→H9春→H9秋→H10春 雑草発生前または発生初期 (雑草、2-3葉期) ; 1.5 g<150-200> ; 全面土壌処理	-	-
[保土谷アケ-ロス]						

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
20. IDH-1105 フロアフル剤 (イデトッフフロフル) トリアジラム 30% 〔IDH-1105研究会 ; 出光興産〕	コライシバ (連用)	作用性 継 続	奥武蔵CC、 西日本G研 (2)	〔一年生雑草] イネ科雑草発生前 H8春→H8秋→H9春→H9秋 ; 0.1ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実	実: [(コライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前 0.075~0.15、 ・ 生育初期 0.15ml <200~300ml>/m ² . ・ 土壌処理または茎葉処理.
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	奥武蔵CC、 東日本G研 (2)			
	コライシバ	実 証	東日本G研(現地)、 埼玉県民G場、 門司GC (3)	〔一年生雑草] イネ科雑草発生前 ; 0.075ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
	ノシバ	実 証	東日本G研(現地)、 埼玉県民G場、 門司GC (3)			
21. JTH-101 液剤 (キヤンペリコ) ザントモス キヤンペストリス (2×10 ¹¹ 個/ml) 〔日本たばこ産業〕	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 新 規	滝川畜試、 札幌芙蓉CC、 太平洋C札幌、 札幌不二ロイヤルGC、 東日本G研(現地)、 那須ナースリー、 ザGC竜ヶ崎 (7)	〔スズメノカタビラ] 春期1回、夏期1回、春~夏期 2回 ; 0.2ml<200>、 0.4ml<400> ; 茎葉処理 ; 一任	実・ 継	実: [(コライシバ、ヘントグラス、ケンタッキー ブルーグラス)スズメノカタビラ] ・ 芝生育期(春~夏期). ・ スズメノカタビラ生育期. ・ 0.2ml<200ml>/m ² ~0.4ml<400ml>/m ² . <1,000倍>. ・ 芝刈りやサッチング等の後の茎葉 処理. 継: ・ ケンタッキーブルーグラスでの効果確 認.
	ヘント グラス	適用性 継 続	長野農事(2)	〔スズメノカタビラ] 4~5月散布 5~6月散布 ; 0.2ml<200>、0.4ml<400> ; 茎葉処理 ; 一任		
22. MN-93① 水和剤 ハロスフロソメチル 10% ジチオビル 12% 〔日産化学工業〕	コライシバ	適用性 新 規	東日本G研(現地)、 高坂CC、 東日本G研、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	〔一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.2、0.3、0.4g<200-300> ; 土壌処理 ; フロロハビエー水和剤 0.3g<200-300>	実・ 継	実: [(コライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前 ・ 0.2~0.4g<200~300ml>/m ² . ・ 土壌処理. 継: ・ 効果、薬害の確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	ノシバ	適用性 新 規	東日本G研(現地)、 植調研究所、 奥武蔵CC、 中国G連G研、 宮崎CC (5)			
23. NC-319 顆粒水和剤 ハロスフロソメチル 75% (つづく)	コライシバ <8年度>	適用性 新 規	奥武蔵CC②、 佐賀CC②> (2)	〔広葉雑草] ①雑草発生前 ; 0.03、0.04、0.05g<200-300> ; 土壌処理または茎葉処理 ; 一任	実・ 継	実: [(コライシバ、ノシバ、ヘントグラス) 広葉雑草] ・ 芝生育初期~生育期. ・ 雑草発生前~生育初期. ・ 0.03~0.05g <200~300ml>/m ² . ・ 土壌処理または茎葉処理. 継: ・ ケンタッキーブルーグラス、ヘントグラス での効果確認. ・ 実証試験での確認.
	ノシバ <8年度>	適用性 新 規	茨城農総園研 <①>、 佐野GC②>、 千葉大学①>、 長野農事①>、 中国G連G研②> (5)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 〔対象雑草〕 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/㎡ ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
23. NC-319 顆粒水和剤 (つづき)	コライシバ	適用性 継 続	小杉CC、 佐野CC<②>、 東日本G研、 花屋敷CC、 門司CC (5)	〔一年生広葉雑草〕 ①雑草発生前 ; 0.03、0.04、0.05g<200-300> ; 土壌処理 ②雑草発生初期 ; 0.03、0.04、0.05g<200-300> ; 茎葉処理 ; イソフール水和剤 0.3g<200-300>		
	ノシバ	適用性 継 続	小杉CC、 富士国際CC<②>、 大月CC、 花屋敷CC、 門司CC (5)			
	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 新 規	札幌芙蓉CC<①>、 小樽CC<①>、 廣済堂札幌CC<①> 盛岡南CC<①> (4)			
	ベント グラス	適用性 新 規	総武CC<①>、 大月CC、 小諸高原CC、 花屋敷CC、 祁答院CC (5)			
〔日産化学工業〕						
24. NC-340① 顆粒水和剤 (ケラトツブ①DF) ハロシルフロメチル 12% プロジファミン 24%	コライシバ	適用性 継 続	東日本G研(現地)、 佐野CC、 東日本G研、 関西G研、 兵庫農技 (5)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 0.15、0.2、0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; NC-340水和剤 0.2g<200-300>	実・ 継	実:〔コライシバ、ノシバ〕 一年生雑草〕 ・ 芝生育期。 ・ 雑草発生前。 ・ 0.15～0.3g<200～300ml>/㎡。 ・ 土壌処理。 継: ・ 実証試験での確認。
	ノシバ	適用性 継 続	植調岩手、 東日本G研(現地)、 佐野CC、 南長野CC、 鳥取園試 (5)			
25. NC-341 水和剤 (フラスコンM) MCPイソプロピルアミン塩 40%	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 新 規	太平洋C札幌、 廣済堂札幌CC、 那須ナーセリー (3)	〔一年生広葉雑草〕 雑草生育期 ; 0.75、1.0、1.5g<200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.5ml<200> (ライグラス、トルフェスクは慣行剤)	実・ 継	実:〔コライシバ、ノシバ、ケンタッキーブルー グラス、ベニアラライグラス、トルフェスク〕 広葉雑草〕 ・ 芝生育期。 ・ 雑草生育初期。 ・ コライシバ、ノシバ 1～1.5、 ケンタッキーブルーグラス、 ベニアラライグラス、トルフェスク 0.75～1.5ml<200ml>/㎡。 ・ 茎葉処理。 継: ・ 0.75mlの効果確認。 ・ ケンタッキーブルーグラス、ベニアラライグ ラス、トルフェスクでの効果、薬害の確 認。 ・ 実証試験での確認。
	ライグラス 類	適用性 新 規	廣済堂札幌CC、 那須ナーセリー (2)			
	トル フェスク	適用性 新 規	那須ナーセリー			
〔日産化学工業〕 (1)						

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 〔対象雑草〕 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
26. NC-359 粒剤 (ﾌﾟﾗﾝﾄﾌﾟﾗｽ) ｼﾞｬﾋﾞﾙ 0.13% (N:P:K=8:8:8) 〔日産化学工業〕	コライシバ (連用)	作用性 新 規	植調研究所、 西日本G研 (2)	〔一年生雑草〕 H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 ; 60g ; 土壌処理 ; 一任	実・継	実: [(コライシバ、ｼﾊﾞ) 一年生雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前. ・ 30～60g/m ² . ・ 土壌処理. 継: ・ 連用試験の継続.
	ｼﾊﾞ (連用)	作用性 新 規	植調研究所、 西日本G研 (2)			
	コライシバ ｼﾊﾞ	実 証	東日本G研(現地)、 埼玉県民G場、 久山CC (3)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 30g ; 土壌処理 ; 一任 (ﾏﾏｸｽ 40gなど)		
27. NC-379 顆粒水和剤 既知化合物 (ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌｾﾚﾝ) 10% 既知化合物 (ｱｼﾞｽﾄﾗﾑ) 30% 〔日産化学工業〕	コライシバ (殺草ｽﾍﾞｸﾄﾙ)	作用性 新 規	植調研究所、 千葉大学 (2)	〔一年生雑草〕 雑草生育期 (ﾒﾋﾞﾊﾞ 3～5 L) ; 0.2、0.3、0.4 g ; 茎葉処理 ; 7-ｼﾞﾗﾝ80SG水溶剤 慣行量	継	継: ・ 成分未公開. ・ 効果、薬害の確認.
	ｼﾊﾞ (殺草ｽﾍﾞｸﾄﾙ)	作用性 新 規	植調研究所、 千葉大学 (2)			
	コライシバ	適用性 新 規	小杉CC、 石川農総試、 く小諸高原GC、 大阪農技、 西日本G研 (5)			
	ｼﾊﾞ	適用性 新 規	小杉CC、 植調研究所、 那須ｸｰﾚｰ、 東広野GC、 宮崎CC (5)			
28. NCH-94 顆粒水和剤 (ｻﾝｼｰﾙﾄﾞ水和剤) ﾊﾛｽﾙﾌｾﾚﾝ 10% ｶﾌｴﾝｽﾄﾛｰﾙ 50% 〔永光化成、 日産化学工業〕	コライシバ	適用性 新 規	奥武蔵CC、 東日本G研、 新沼津CC、 西日本G研 (4)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 0.2、0.3、0.4g<200-300> ; 土壌処理 ; NCH-94 水和剤 0.3g<200-300>	実・継	実: [(コライシバ、ｼﾊﾞ) 一年生雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前. ・ 0.2～0.4g<200～300ml>/m ² . ・ 土壌処理. 継: ・ 効果、薬害の確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	ｼﾊﾞ	適用性 新 規	江戸崎CC、 奥武蔵CC、 南長野CC、 東広野GC、 宮崎CC (5)			
29. NH-502 水和剤 ｲﾎﾟﾌﾟﾛﾌﾞﾅﾝ 50% (つづく)	コライシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 西日本G研 (2)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 0.3g<200-300> ; 土壌処理 ; 無処理	実・継	実: [(コライシバ、ｼﾊﾞ) 一年生雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前. ・ 0.2～0.3g<200～300ml>/m ² . ・ 土壌処理. 継: ・ 連用試験の継続. ・ 実証試験での確認.
	ｼﾊﾞ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 中国G連G研 (2)			
	コライシバ (薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 0.3、0.6、1.2g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
	ｼﾊﾞ (薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
29. NH-502 水和剤 (つづき) [日本農業]	コライシバ	適用性 継 続	フアラサムカ-テン、 植調研究所、 ウイングフィールドGC、 新沼津CC、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.15、0.2、0.3g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任(ウエイファ-FL 0.6g<200-300>など)		
	ノシバ	適用性 継 続	盛岡南CC、 植調研究所、 ウイングフィールドGC、 甲府国際CC、 宮崎CC (5)			
30. NP-63 液剤 mecoprop-P 52% [日本曹達]	コライシバ	適用性 継 続	植調研究所、 那須ナ-リー、 東日本G研、 リバ-富士CC、 琵琶湖CC、 鳥取園試 (6)	[広葉雑草] 生育期 ; 0.25、0.375、0.5ml<200> ; 茎葉処理 ; MCPP液剤 0.75ml<200>	実 継	実: [(コライシバ、ノシバ、ケンタッキー- -グ-ラス) 広葉雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草生育期. ・ 0.25~0.5ml<200ml>/m ² . ・ 茎葉処理. 継: ・ 多年生広葉雑草の効果確認. ・ 実証試験での確認.
	ノシバ	適用性 継 続	植調岩手、 江戸崎CC、 習志野CC、 リバ-富士CC、 琵琶湖CC、 祁答院GC (6)			
	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 継 続	札幌国際CC、 札幌芙蓉CC、 札幌不二ロイヤルGC、 那須ナ-リー (4)			
31. OK-701 40F 7077-ル剤 新規化合物 35% [大塚化学]	コライシバ (殺草ス ベクトル)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)	[一年生雑草] 雑草発生前(発生前) ; 0.1、0.15、0.2ml<200-300> ; 茎葉処理 ; デイクトラン乳剤 0.15ml<200-300>	継	継: ・ 成分未公開. ・ 効果、被害の確認.
	コライシバ (薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.2、0.4、0.8ml<200-300> ; 土壌処理 ; デイクトラン乳剤 0.15ml<200-300>		
	コライシバ	適用性 新 規	那須ナ-リー、 小杉CC、習志野CC、 南愛知CC、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.1、0.15、0.2ml<200-300> ; 土壌処理 ; デイクトラン乳剤 0.15ml<200-300>		
32. RGH-840 液剤 トリクロピ-ル 30% MCP 10% [理研ケ-リン]	コライシバ	適用性 継 続	宇都宮大学、 東日本G研、 中国G連G研、 大阪農技、 佐賀CC (5)	[広葉雑草] 雑草生育期 ; 0.6、0.7、0.8ml<150~200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 1.0ml<200>	実 継	実: [(コライシバ) 広葉雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草生育期. ・ 0.6~0.8ml<150~200ml>/m ² . ・ 茎葉処理. 継: ・ 実証試験での確認.

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
33. RH-315N 水和剤 (クサゴ-ン水和剤) ハロスルフロンメチル 10% 7-ロピダミド 40% [ローム・アソ・ハス シ・ハ・ソ]	ノシハ	適用性 新 規	那須ナ-セ-、 佐野GC、 甲府国際CC、 琵琶湖CC、 宮崎CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.15、0.2、0.3g<200-300> ; 土壌処理 ; デイクラン乳剤 0.1g<200-300>	実・ 継	実: [(コライシハ、ノシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期。 ・ 雑草発生前。 ・ 0.2~0.3g<200~300ml>/m ² 。 ・ 土壌処理。 継: ・ ノシハでの効果、薬害の確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
34. RYH-105 7-ロピダミド剤 オキサジクロメキン 30% [ローヌ・ア-ラン 油化7グロ]	コライシハ	適用性 継 続	小杉CC、 ウツグ・フィ-ルトGC、 東日本G研、 兵庫農技、 西日本G研 (5)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 0.075、0.1、0.15ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実: [(コライシハ、ノシハ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期。 ・ 雑草発生前。 ・ 0.075~0.15ml <200~300ml>/m ² 。 ・ 土壌処理。 継: ・ 連用試験での確認。
	ノシハ	適用性 継 続	東蔵王GC、総武CC、 長野農事、 リハ-富士CC、 宮崎CC (5)			
	コライシハ ノシハ	実 証	埼玉県民G場、 中国G連G研、 門司GC (3)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 0.1ml<200> ; 土壌処理 ; 一任		
	コナカシ ワ、ツツジ 類 他3種	緑化木	埼玉花植木 (1)	[緑化木に対する影響] ①茎葉処理 ; 0.2ml<200> ②土壌処理 ; 0.4ml<200> ; 無処理		
35. RYH-106 7-ロピダミド剤 オキサジアルキル 34.5% (前回30%は訂正) [ローヌ・ア-ラン 油化7グロ]	ノシハ (連用)	作用性 新 規	植調研究所、 東日本G研 (2)	[一年生雑草] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 ; 0.2ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実: [(コライシハ、ノシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期。 ・ 雑草発生前。 ・ 0.1~0.2ml<200~300ml>/m ² 。 ・ 土壌処理。 継: ・ ノシハでの連用試験の継続。 ・ コライシハにおける連用試験で の確認。
	コライシハ	適用性 継 続	小杉CC、 ウツグ・フィ-ルトGC、 東日本G研、 タバノ-スGC、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.1、0.15、0.2 ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
	ノシハ	適用性 継 続	東蔵王GC、総武CC、 リハ-富士CC、 タバノ-スGC、 宮崎CC (5)			
	コライシハ ノシハ	実 証	埼玉県民G場、 中国G連G研、 門司GC (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.15ml<200> ; 土壌処理 ; 一任		
	コナカシ ワ、ツツジ 類 他3種	緑化木	埼玉花植木 (1)	[緑化木に対する影響] 雑草発生前 茎葉処理 ; 0.2ml<200> 土壌処理 ; 0.4ml<200> ; 無処理		

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
36. RYH-108 7077 [®] ル剤 ジフルフェニル 50% 〔ロース・ブーラン 油化7ケロ〕	コライシバ	適用性 継 続	7 [®] ラッサムカ [®] デ [®] ン、 奥武蔵CC、 東日本G研、 花屋敷GC、 西日本G研 (5)	〔一年生広葉雑草〕 雑草発生前 ; 0.075、0.1、0.15ml<200-300> ; 土壌処理 ; ターザイン水和剤 0.06g <200-300>	継	継: ・ 薬量と薬害の確認。
	ノシハ	適用性 継 続	7 [®] ラッサムカ [®] デ [®] ン、 奥武蔵CC、 総武CC、 花屋敷GC、 鳥取園試 (5)			
37. RYH-120 7077 [®] ル剤 オキサジアルキル 9% MCP 40% 〔ロース・ブーラン 油化7ケロ〕	コライシバ	適用性 新 規	小杉CC、 東日本G研、 浜松シード [®] GC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	〔一年生雑草〕 メシハ [®] 発生初期 ; 0.3、0.4、0.5ml<200-300> ; 茎葉処理 ; トンナツ [®] 液剤 0.3ml<200>	継	継: ・ 効果、薬害の確認。
	ノシハ	適用性 新 規	小杉CC、 サ [®] GC竜ヶ崎、 高坂CC、 鳥取園試、 中国G連G研 (5)			
38. RYH-121 液剤 mecoprop-isomer 52% 〔ロース・ブーラン 油化7ケロ〕	コライシバ	作用性 新 規	宇都宮大学 (1)	〔広葉雑草〕 ; 別途協議 ; MCP液剤	実・ 継	実: [(コライシバ、ノシハ、ケンタッキー [®] フル ーグラス) 広葉雑草] ・ 芝生育期。 ・ 雑草生育期。 ・ 0.25~0.5ml<200ml>/m ² 。 ・ 茎葉処理。 継: ・ 効果、薬害の確認。 ・ 実証試験での確認。
	コライシバ	適用性 新 規	小杉CC、 植調研究所、 浜松シード [®] GC、 関西G研、 佐賀CC (5)	〔広葉雑草〕 雑草生育期 ; 0.25、0.5ml<100-200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.5、1.0ml<100-200>		
	ノシハ	適用性 新 規	小杉CC、 植調研究所、 浜松シード [®] GC、 関西G研、 久山CC (5)			
	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 新 規	札幌芙蓉GC、 札幌不二ロイヤル、 廣済堂札幌CC (3)			
39. SB-325 7077 [®] ル剤 (ハースト7077 [®] ル) TPN 53% 〔イス・ディー・イス ハ [®] イオテック〕	コライシバ	適用性 継 続	奥武蔵CC、 那須ナセー、 総武CC、 習志野CC、 門司GC (5)	〔藻、苔類〕 藻、苔類の発生前~発生始期 ; 1.0、1.54ml<1000> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実: [(コライシバ、ハ [®] ントグラス) 藻類] ・ 芝生育期。 ・ 藻類発生前。 ・ 1.0~1.54ml<1,000ml>/m ² 。 ・ 土壌処理。 継: ・ 実証試験での確認。
	ハ [®] ント グラス	適用性 継 続	奥武蔵CC、総武CC、 大月CC、 <小諸高原GC>、 花屋敷GC、 祁答院GC (6)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
40. SL-160 粒剤 フザスルフロン 0.1% [石原産業]	コライシバ	適用性 継 続	東日本G研(現地)、 石川農総試、 佐野GC、 佐賀CC (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 4、5、6 g ; 土壌処理 ; パナフィン粒剤 10g または慣行の粒剤	実・ 継	実: [(コライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前. ・ 4~6g/m ² . ・ 土壌処理. 継: ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	ノシバ	適用性 継 続	東日本G研(現地)、 静岡高冷地、 富士国際GC、 宮崎CC (4)			
41. TG-02 粒剤 ハスロジン 1.33% トリフルラリン 0.67% [東洋グリーン、 ダウ・ケミカル日本]	コライシバ (連用)	作用性 新 規	植調研究所、 中国G連G研 (2)	[一年生雑草] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 ; 20g ; 土壌処理 ; 一任	継	継: ・ 効果、薬害の確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	コライシバ	適用性 新 規	茨城農総園研、 高坂CC、新沼津CC、 桑名CC、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 10、15、20g ; 土壌処理 ; パナフィン粒剤 16g		
	ノシバ	適用性 新 規	植調研究所、 那須ナセリー、 桑名CC、 久山CC、 植調岩手 (5)			
42. TG-03 粒剤 ハスロジン 1.0% オリザリン 1.0% [東洋グリーン、 ダウ・ケミカル日本]	コライシバ (連用)	作用性 新 規	植調研究所、 中国G連G研 (2)	[一年生雑草] H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 ; 20g ; 土壌処理 ; 一任	継	継: ・ 効果、薬害の確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	コライシバ	適用性 新 規	茨城農総園研、 新沼津CC、桑名CC、 大阪農技、 佐賀CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 10、15、20g ; 土壌処理 ; パナフィン粒剤16g		
	ノシバ	適用性 新 規	植調岩手、 那須ナセリー、 高坂CC、桑名CC、 宮崎CC (5)			
43. TH-913S フロアール剤 イマゾスルフロン 5.3% SAP 33.3% [トメツ、 武田薬品工業]	コライシバ (薬害)	作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研 (2)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 雑草発生前 ; 0.75、1.0、2.0、4.0ml <200-300> ; 土壌処理 ; 別途協議	継	継: ・ 効果、薬害の確認.
	ハント グラス (薬害)	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)			
	コライシバ	適用性 新 規	東蔵王GC、 植調研究所、 ウィンクフィールドGC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 雑草発生前 ; 0.75、1.0、1.5ml<200-300> ; 土壌処理 ; 別途協議		
	ハント グラス	適用性 新 規	総武CC、大月CC、 <小諸高原GC>、 祁答院GC (4)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 〔対象雑草〕 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
44. YH-552 水和剤 ビ [®] リフ [®] チカルブ 20% ビ [®] フェノックス 40% 〔八州化学工業〕	ノシハ [®] <8年度>	適用性 継 続	<大阪GC> (1)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 0.6、0.8、1.0 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	(前回判定どおり) 実: [(コライシバ [®] 、ノシハ [®] 、ベントグ [®] ラス) 一年生雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前. ・ 0.6~1.0g<200~300ml>/m ² . ・ 土壌処理. 継: ・ 抑草期間について.
45. YH-592 水和剤 カフェストロール 60% シノスルフロン 5% 〔八州化学工業〕	コライシバ [®] (殺草ス ペクトル)	作用性 新 規	中国G連G研、 東日本G研 (2)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 0.15、0.2、0.25、0.3g <200-300> ; 土壌処理 ; 一任	—	—
	ノシハ [®] (殺草ス ペクトル)	作用性 新 規	植調研究所、 西日本G研 (2)	; 土壌処理 ; 一任		
	コライシバ [®] (薬害)	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 0.3、0.6、1.2g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
	ノシハ [®] (薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 西日本G研 (2)	; 土壌処理 ; 一任		
46. オルソ [®] ソナー [®] 90 乳剤 オルソ [®] ソナー [®] 90% 〔理研グリーン〕	コライシバ [®]	適用性 新 規	東日本G研(現地)、 小杉CC、 植調研究所、 東日本G研 (4)	〔一年生イネ雑草〕 雑草発生前 ; 0.6、0.9 ml<200-300> ; 土壌処理 ; ランレイ乳剤 1.2ml<300>	実・ 継	実: [(コライシバ [®]) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前. ・ 0.6~0.9 ml<200-300>. ・ 土壌処理. 継: ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
47. シアナジ [®] ン 707 [®] 乳剤 シアナジ [®] ン 42% 〔日本サイアミット [®] 〕	コライシバ [®] (連用)	作用性 継 続	西日本G研 (1)	〔一年生雑草〕 H8秋→H9春→H9秋→H10春 雑草発生前 ; 0.2ml<200-250> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実: [(コライシバ [®] 、ノシハ [®]) 一年生雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前. ・ 0.1~0.2 ml<200-250ml>/m ² . ・ 土壌処理. 継: ・ 連用試験の継続. ・ 実証試験での確認.
48. ナ [®] ロハ [®] ミト [®] 顆粒水和剤 ナ [®] ロハ [®] ミト [®] 48% (つづく)	コライシバ [®] (殺草ス ペクトル)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 0.3、0.4、0.6g<200-300> ; 土壌処理 ; ナ [®] ロハ [®] ミト [®] 水和剤 0.6g<200-300>	実・ 継	実: [(コライシバ [®] 、ノシハ [®]) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前. ・ 0.6g<200-300ml>/m ² . ・ 土壌処理. 継: ・ 低薬量の効果確認. ・ 連用試験の継続. ・ 実証試験での確認.
	ノシハ [®] (殺草ス ペクトル)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)	; ナ [®] ロハ [®] ミト [®] 水和剤 0.6g<200-300>		
	コライシバ [®] (薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 0.8、1.2、1.6、2.4g<200-300> ; 土壌処理 ; ナ [®] ロハ [®] ミト [®] 水和剤 0.6g<200-300>		
	ノシハ [®] (薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)	; ナ [®] ロハ [®] ミト [®] 水和剤 0.6g<200-300>		

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 〔対象雑草〕 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
48. ナフ [®] ロハ [®] ミト [®] 顆粒水和剤 (つづき)	コライシバ (連用)	作用性 新 規	植調研究所、 中国G連G研 (2)	〔一年生雑草〕 H9春→H9秋→H10春→H10秋 雑草発生前 ; 0.6g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
	ノシバ [®] (連用)	作用性 新 規	植調研究所、 中国G連G研 (2)			
	コライシバ	作用性 新 規	ブラッサムガーデ [®] ン、 石川農総試、 那須ナ [®] セ [®] リ [®] 、 高坂CC、タイガ [®] スGC、 西日本G研 (6)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 ; 0.3、0.4、0.6g<200-300> ; 土壌処理 ; ナフ [®] ロハ [®] ミト [®] 水和剤 0.6g<200-300>		
	ノシバ [®]	作用性 新 規	ブラッサムガーデ [®] ン、 東日本G研(現地)、 サ [®] GC竜ヶ崎、 大月CC(コライシバ [®])、 東広野GC、 タイガ [®] スGC (6)			
49. フ [®] ロジ [®] アミン [®] フロアフル [®] 剤 フ [®] ロジ [®] アミン 41%	コライシバ	適用性 継 続	習志野CC、 石川農総試、 西日本G研 (3)	〔一年生雑草(本科は除く)〕 雑草発生前 ; 0.08、0.12、0.16ml<250> ; 土壌処理 ; クサブ [®] ロック水和剤 0.12g<250>	実 ・ 継	実 : [(コライシバ [®] 、ノシバ [®] 、 ケンタッキー [®] ブルーグラス、ベント [®] グラス、 ハ [®] ミュー [®] ター [®] グラス)一年生雑草] ・ 芝生育期。 ・ 雑草発生前。 ・ 0.08～0.16ml <200～300ml>/m ² 。 ・ 土壌処理。 注) ・ベント [®] グラスはグリーンを除く。 ・ 本科雑草の発生の多い場所での 使用は注意する。 継 : ・ 連用試験での確認。 (フロアフル [®] 剤か顆粒水和剤どちら からか実施。)
	ノシバ [®]	適用性 継 続	南長野GC、 タイガ [®] スGC、 久山CC (3)			
	ベント グラス	適用性 継 続	総武CC、 祁答院GC (2)			
	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 継 続	札幌国際CC、 小樽CC、 盛岡南CC (3)			
	ハ [®] ミュー ター [®] グラス	適用性 継 続	新沼津CC、 桑名CC、 琵琶湖CC (3)			
	コライシバ ノシバ [®]	実 証	東日本G研(現地)、 埼玉県民G場、 門司GC (3)	〔一年生雑草(本科は除く)〕 雑草発生前 ; 0.12ml<250> ; 土壌処理 ; クサブ [®] ロック水和剤 0.12g<250>		
50. フ [®] ロジ [®] アミン [®] 顆粒水和剤 (クサブ [®] ロック) フ [®] ロジ [®] アミン 63%	コライシバ <8年度>	適用性 継 続	<鳳鳴CC> (1)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草発生前 ; 0.06、0.08、0.1g<250-300> ; 土壌処理 ; フ [®] ロジ [®] アミン水和剤 0.12g<250-300>	実 ・ 継	実 : [(コライシバ [®] 、ノシバ [®] 、 ケンタッキー [®] ブルーグラス、ベント [®] グラス、 ハ [®] ミュー [®] ター [®] グラス)一年生雑草] ・ 芝生育期。 ・ 雑草発生前。 ・ 一年生雑草対象 ; 0.12～0.24g 一年生イネ科雑草対象 ; 0.06～0.1g<200～250ml>/m ² 。 ・ 土壌処理。 注) ・ベント [®] グラスはグリーンを除く。 ・ 本科雑草の発生の多い場所での 使用は注意する。 継 : ・ 連用試験での確認。 (フロアフル [®] 剤か顆粒水和剤どちら からか実施。)
	コライシバ	適用性 継 続	東日本G研(現地)、 石川農総試、 西日本G研 (3)			
	ノシバ [®]	適用性 継 続	大月CC、 タイガ [®] スGC、 佐賀CC (3)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
51. 7° ロンファミン肥料 粒剤 (テマックス) 7° ロンファミン 0.24% (N:P:K=8:8:8) [エス・ディー・エス ハイオテック]	コライシバ <8年度>	適用性 継 続	<大阪CC> (1)	[一年生雑草(本科除く)] 雑草発生前 ; 30、40、50 g ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実: [(コライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期. ・ 雑草発生前. ・ 30~60g/m ² . ・ 土壌処理. 注) ・ 本科雑草の発生の多い場 所での使用は注意する. 継: ・ 低中薬量の効果確認. (・ 肥料形態の検討.)

B. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
1. AS-1 液剤 5-ニトログァヤコ-ルナトリウム 0.1% オルソニトロフェ-ルナトリウム 0.2% ハ-ラニトロフェ-ルナトリウム 0.3%	コライシバ	作用性 継 続	千葉大学、 千葉農試 (2)	[張り芝後の活着促進 (処理回数の検討)] ①張り芝直後1回 ②直後と7日後の2回 ③直後、7日、14日後の3回 ; 1,000倍液<1,000> ; 茎葉処理 ; 無処理<水1,000>	実	実: [(コライシバ) 張り芝後の活着促進] ・ 張り芝直後~14日まで3 回、7日間隔. ・ 2,000~1,000倍液 <1,000ml>/m ² . ・ 茎葉処理.
			<小杉CC>、 茨城農総園研、 江戸崎CC、 奥武蔵CC(ノシバ)、 門司GC(ノシバ) (5)	[張り芝後の活着促進] 張り芝直後、7日、14日後の 3回 ; 2,000、1,000倍<1,000> ; 茎葉処理 ; 無処理<水1,000>		
	ハント グラス	作用性 継 続	千葉大学、 千葉農試 (2)	[播種後の生育促進] ①播種前種子浸漬処理(2時間) ↓ 茎葉処理; 播種後7日目より 7日毎4回 ②茎葉処理; 播種直後より7日 毎5回 ; 2,000、1,000倍<1,000> ; 無処理<水1,000>	—	—
	ハント グラス <8年度>	適用性 新 規	<東名根羽CC> (1)	[活力維持と生育の回復効果] 夏期(梅雨明けより9月上旬)、 ; 7~10日毎5回茎葉処理 ; 2,000、1,000倍 ; 無処理<水1,000>	継	継: ・ 効果の確認.
	ハント グラス	適用性 継 続	江戸崎CC、 奥武蔵CC、 総武CC、 大月CC、 祁答院GC (5)	[活力維持と生育の回復] 7/下、8/上、8/中、8/下、 9/上の5回 ; 2,000、1,000倍<1,000> ; 茎葉処理 ; 無処理<水1,000>		
[旭化学工業]						

B. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
2. CG-186 水和剤 (フ リモ WSB水和剤) トリネキサハ ッケル 25%	コライシバ <8年度 翌春>	作用性 継 続	<桑名CC>、 琵琶湖CC (2)	[処理時期、翌年への影響] ① 6月、② 7月、③ 8月、 ④ 9月、⑤ 10月 ; 0.04 g<150> ; 無処理	実 継	実 : [(コライシバ、ノシバ、ケンタッキーブル -グーラス、パーミューダグーラス)生育抑制 効果による刈込み軽減] ・ 生育期. ・ コライシバ、ノシバ 0.02~0.04、 0.02~0.04→0.02~0.04 g<150ml>/m ² . ケンタッキーブル-グーラス 0.04~0.06g<150ml>/m ² 、 パーミューダグーラス 0.03~0.06g<150ml>/m ² . ・ 茎葉処理. 継 : ・ 体系処理の効果、 葉害の確認. ・ 翌年の芝に対する影響につい て、 ・ パーミューダグーラスの効果確認.
	ノシバ <8年度 >	適用性 継 続	<鳳鳴CC> (1)	[生育抑制による刈込み軽減効 果(低薬量と体系処理)] 前処理 ; 5月末~6月始 後処理 ; 前処理の効果が切れる 時期 [0.02、0.02→0.02、 0.04、0.04→0.04g<150> ; 0.08g<150>		
	ケンタッキー ブル グーラス	適用性 継 続	札幌芙蓉CC、 太平洋C札幌、 廣済堂札幌CC、 那須ナセー (4)	[生育抑制による 刈込み軽減効果] 芝生育期(5月末~6月) ; 0.04、0.06、0.08g<150> ; 無処理 (翌年の芝に対する影響につい ても検討)		
	パーミュー ダグ グーラス	適用性 新 規	新沼津CC、 桑名CC、 琵琶湖CC、 祁答院GC (4)	[生育抑制による 刈込み軽減効果] 芝生育期(5月末~6月) ; 0.03、0.04、0.06g<150> ; 無処理		
3. NOK-1 液剤 E. cloacae No. 11-5 株培養濾液	コライシバ	作用性 継 続	<千葉大学>、 千葉農試 (2)	[張り芝時の活着促進] 張り芝直後、7日後の2回 ; 1,000、500、200、100倍<1,000> ; 茎葉処理 ; 無処理<水1,000>	継	継 : ・ 効果、葉害の確認.
		適用性 新 規	<小杉CC>、 茨城農総園研 植調研究所 (3)	[張り芝後の活着促進] 張り芝直後、7日後の2回 ; 500、200、100倍<1,000> ; 茎葉処理 ; 無処理<水1,000>		
	バント グーラス	作用性 新 規	<千葉大学>、 千葉農試 (2)	[播種後の発根促進] 発芽直後、7日後の2回 ; 1,000、500、200、100倍<1,000> ; 茎葉処理 ; ハイネックス<水1,000> 無処理<水1,000>		
4. STC4771+GA ₃ 液剤 GA ₃ 4.0% STC4771 0.2% [タマ生化学、トメツ]	芝	作用性 新 規	宇都宮大学、 関西G研 (2)	[低温期又は早春の 萌芽生育促進] 別途協議	-	-
5. ACM-01 機器 π ウィーター	コライシバ	基 礎 新 規	<小杉CC>、 植調研究所、 宇都宮大学、 東日本G研、 <西日本G研> (5)	[生育維持(促進)] 別途協議	-	-